

前面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、謹、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。
会話が広がります。

令和8年1月9日(金)

【雑感】教え子からの伝言

教え子の中に陸上選手がいます。もう引退ましたが、箱根駅伝、二コーライナー駅伝にも参加したらしいのあの選手です。

卒業前雑感～中学校とは④

引退後も所属先の、福岡安川電機に勤務しておらず、以前の勤務校で講話をしてくれたことを思って出しました。その時の講話の内容をかしあげてみました。

小・中学生で講話を大切にする
①挨拶は基本中の基本。
②ルールを守らねば
③時間の大半を聞く側が決める
④目標を明確に持つこと
⑤反響を先生、家族を大切にできる事

- ④新しい事に挑戦するるる
お話を中で特に力を入れて説明をされたのが「捲錢は基本中の基本」。
と「ルールを守らるる」の二点でした。
た。当時、本人は「一流選手であつたが」、捲錢やルールを守らぬことは一
流選手である証だ、人として必要はいじらしい事にてておお。そして、結果を出さたのに努力を繰り返すことが大切だといつしも述べていておし
た。そのため時間の使い方を工夫していよいよ本番頃にと準備していく
ます。一日で4時間しかあらませんので、睡眠を1時間、学校時間が8
時間、残るのは時間のみ。この時間を使ひ方か、生活をリードするためのルーチン
をつくり立てるために、自分自身の時間をいかにして使うか、
間をいかに使うか、などを意識して生活をつくり立てる。

思春期の入る口に立つてこの時代を渡して
いふ品をさしあしたが、中学校では四国意識の芽生
えじよつて、友人とのせきひでかわ変わりも
す。友人関係は子と母達にめぐる経験をやめて、
更なる成長をめざさむ。しかし、他の成長
を嫌がる現れで、「やめだ」を伴つてくる
ものが分々あります。男女関係など、なかなか本
音を出せずに苦しんだり、逆に本音を隠すので
間を見てはねじ、少しも樂しく学校生活へよつ
になつたが、のこのこ語け書れ、絶対やつたが
りを求める書き込み方が多づつてゐる現象です。
このゆめの中で、友人関係は漸じて見らや、寂
しそう思つてゐる人が多くいます。私は中学生
の頃ですが、「親友」と云ひ繋がる變化があ
るのです。

シリーズ「自分を語る」#65

ト名前小の年目だったと思ってます。この年初めての年生男子ダブルス1ペアが九州大会(大分大会)に出場されました。翌年、同じくの年生女子ダブルスペアが九州大会(鹿児島大会)に出場しました。その翌年、6年生女子ダブルスペアが九州大会(鹿児島大会)に出場しました。どの大会にも監督として付いていましたが、保護者の限にノルマ(ケーション)の場だったと思います。

部活動、結果が出始め、あわやな顔と気分を入れて挑んだのが、平成1の年度の熊田学童オーロンシップです。シングルでもダブルでも入賞の可能性があつたが九州大会への切符も田の舎だと感じていました。しかし、結果は思わず方向へと動きました。早い段階で敗退してしまい、九州大会には出でられませんでした。明かにしのぎの緩みが生じてしまった。何でもやれますが、氣の緩むところは多いところと意識します。練習も取組も姿勢も、口頭も書類も手帳も監視します。

が出ていたようでした。ストイックなどといいますか、目標を定めてしまいそれを達成するががんばっていった時期でした。因みに、この年の学童オーロンシップでは和水町出場でオーロンの廣田君が選手も出場して、回数も試合を重ねながら順位を上げましたが、彼女のスキルはまだ抜けていましたね。彼女はとてもイシカワが育んでいたのですが、田標もつらくなかったのです。現在の距離感を見れば、回の結果がなくて